

伊丹っ子たち

個性がキラリ「音」を伝える作品づくり

「放送部は文化部じゃない！」県立伊丹高校放送部の3年生は口をそろえます。文化部と違って入部したら、運動部に勝るとも劣らない活発な活動が待っていました。

毎年応募しているNHK杯全国高校放送コンテストは、顧問の辻道先生が「野球部が夏の甲子園に出場するイメージ」と話すほど過酷なスケジュールです。部員は、授業、宿題、テスト、文化祭などの合間を縫って応募



放送部は文化部じゃない！

する部門に合わせた原稿作りや取材、データ作成、編集作業などを行います。

そして今年度は、同コンテストのアナウンスとラジオドキュメントの2部門で全国大会出場の切符を手に入れました。

アナウンス部門の作品は、校内放送をテーマに生徒が原稿を自作して朗読する1分30秒以内の音声です。今回は生徒が飼っているトカゲの脱皮をテーマに原稿を作りました。

原稿は、初めて聞いた人にも分かりやすい文章で構成することを心掛け、読むときは相手にどう伝わるかを考え、間の取り方や声のトーンなどを調整します。

ラジオドキュメント部門は、日常に溶け込んだ音の大切さをテーマに作った7分間の音声作品です。同作品は「学校生活で何気なく聞いている飛行機のエンジン音や自衛隊のラッパの音など当たり前前の音」の価値を見つめ直す内容です。

同校ならではの「音」を拾い集め、その音を聞いた生徒たちへのインタビューや無響室での無音体験談、専門家の意見を盛り込むドキュメンタリーになっています。

一つの作品を作るに当たり、部内で企画会議を重ね、いくつものインタビューを行い、時にはけんかをしながら伝えたい内容を凝縮していく本格的な制作手法の中に、高校生ならではの発想の面白さが加わって個性あふれる作品が出来上がります。

同コンテストでは惜しくも入賞を逃しましたが、自分で考え、取材し、最後はみんなで作りに上げるという経験が「自分の意見が言えるようになった」、「自信が持てるようになった」、「調整力がついた」という生徒たちの素晴らしい成果になりました。

同校放送部の活動は、エフェムいたみ(79・4ガール)で第1・4日曜の午前10時半から放送の「いたみ青春放送局」で聞くことができます。

呑んぼりいたみ散歩 nonbiri itami sanpo



伊丹商工会議所は、11月1日より12月15日「清酒発祥の地 伊丹を巡り、嗜むスキャンナリ」を開催します。

伊丹商工会議所は、11月1日より12月15日「清酒発祥の地 伊丹を巡り、嗜むスキャンナリ」を開催します。

「呑んぼりいたみ散歩」のサイト(下二次元コード)から読み取り可)に表示されるクイズに回答し、対象飲食店1店舗を利用すると達成となります。

ヒントは、本市の酒文化を象徴する▽鴻池稲荷祠(上写)

同イベントは、スマートフォンを使った「クイズラリー」です。

池稲荷祠(鴻池6。左上写真)▽老松丹水(中央3)▽長寿蔵ブルワリーミュージアム(同)▽伊丹シティホテル内枡タワー(同6)の4カ所を巡り、探します。

伊丹商工会議所で達成画面を提示した先着100人に伊丹の日本酒をプレゼントします。

▽伊丹商工会議所 ☎75・1221



★日本遺産認定記念 鴻池親子酒「鹿介」「新六」販売

鴻池は清酒発祥の地です。同地に建つ「鴻池稲荷祠(上写)

真二には、戦国武将山中鹿介の子、山中新六幸元が慶長5(1600)年、同地で濁り酒から清酒を造ることに成功し江戸に出荷し、大いに売ると刻まれています。

清酒発祥の地PRと日本遺産認定を記念し、鴻池親子酒「鹿介(左写真)」「新六(同右)」を次の通り販売します。

▽伊丹老松酒造直売所(中央3) ☎782・2470

▽白雲長寿蔵ショップ(同) ☎773・0524

▽観光物産ギャラリー(JR伊丹駅構内) ☎770・7060

▽伊丹エビス(鴻池5) ☎781・1532

▽丸都市ブランド・観光戦略課 ☎74・2088

読書の秋は 図書館「ことば蔵」へ

図書館「ことば蔵」1階の交流フロアで、交流イベントを次の通り開催します。

いずれも無料。先着順。

★誰かに伝えたい身近な自然絵はがき表彰セレモニー 11月7日(日)午後2時

7・8月に募集した絵はがきの表彰式。

定員10人。当日直接、会場へ。

★自分のアイデアが実現 フロア運営会議 10日(水)午後6時半

交流フロアの運営やイベントを提案・検討する参加型会議。

定員25人。当日直接、会場へ。

★いたみ文芸(ことうし) 13日(土)午後1時

自作の文章を持ち寄り感想や意見を出し合う。

定員10人。当日直接、会場へ。

★編集メンバー募集(伊丹公論) 編集会議 16・30日の火曜午後6時半

復刊29号の作成に向けた編集会議。

★おすすめの本の交換会(カエ工) 17日(水)午後6時半

17日(水)の秋にちなんだテーマ「○○の秋にちなんだ本」を持ち寄り交換。

▽会場参加員定員8人。当日直接、会場へ

▽オンライン参加員定員なし。11月15日までに同館ホームページから要電子申請。

★漫画を語ろう！(下写真) 24日(水)午後6時半

「役に立った漫画」をテーマにお薦めする本を持ち寄り自由に語り合う。

▽会場参加員定員10人。当日直接、会場へ

▽オンライン参加員定員なし。11月22日までに同館ホームページから要電子申請。

★いたみアーカイブ 21日(日)午後2時

本市の歴史や景観、記憶などを整理しデジタル情報に残す。

定員8人。当日直接、会場へ。

2部制で開催 来年1月10日(祝) 二十歳の祝典(成人式)



来年開催する二十歳の祝典(成人式)は、出身校(住所地の校区)ごとに2部制で開催します。日時などは次の通り。

【日時】 来年1月10日(祝)▷午前10時(第1部) = 天王寺川中・松崎中・荒牧中・笹原中・伊丹特別支援学校▷午後1時(第2部) = 東中・西中・南中・北中・こやの里特別支援学校——出身校区在住の人

【会場】 東り いたみホール

【内容】 恩師からのビデオレターなど

【対象】 平成13年4月2日~14年4月1日生まれの人。当日直接、会場へ。原則、対象者以外は会場には入れません。

市外に転出した人が出席する場合は、事前に市教委子ども若者企画課へ申請が必要です。

詳しくは市ホームページ(二次元コード)から読み取り可)を確認を。

車での来場はご遠慮ください。会場内・周辺は禁酒・禁煙です。

市教委子ども若者企画課 ☎784-8167



作品募集

次の通り、自作未発表の作品を募集します。

◆①タイトルだけで作家デビュー！第7回タイトルだけグランプリ 自分で考えた架空の本のタイトル(15字以内)とサブタイトル(20字以内)、ペンネーム(10字以内) 1人3作品まで電子申請も可)へ。

▽応募作品に住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号を書いて①来年1月9日②2月15日までに直接か郵送(必着)で〒664・0895宮ノ前3-7-14 図書館「ことば蔵」(☎784・8170。同館ホームページから電子申請も可)へ。

◆②「伊丹俳壇・歌壇」掲載作品 兼題「みかんの俳句と」再会(テーマ詠)の短歌1人各1作品を。

最優秀賞各1点、優秀賞各5点を「伊丹公論」に掲載。最優秀賞は、千円分の図書券を進呈。

▽全作品を同館に展示。最優秀賞は、5千円分の図書券を進呈。

11月6日(土)・7日(日) 伊丹郷町屋台村



11月6日(土)・7日(日)の正午~午後9時、三軒寺前広場で「第19回伊丹郷町屋台村」を開催します。

市内飲食店の「おいしい」が集まるイベントです。

伊丹郷町商業会 ☎775-2918